

文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」

自然環境診断マイスター養成 第3コース

公開講演会

入場
無料

会場／信州大学 理学部 講義棟 第1講義室

予約
不要

2008.11月 1日(土)9:30~15:30

9:30~12:00

「環境問題と地方自治体」

藤本 敏 松本市役所 環境保全課 ISO推進・地域温暖化防止担当 課長補佐

13:00~15:30

「生物多様性の保全：グローバルな枠組みとローカルな視点をどうつなぐか」

須賀 丈 長野県 環境保全研究所 自然環境部 研究員



2008.11月22日(土)9:30~15:30

9:30~12:00

「湿地の保全と自然再生」

西廣 淳 東京大学 大学院 農学生命科学研究科 生圏システム学専攻 助教

13:00~15:30

「希少生物の保護と環境保全 -絶滅が危惧されるホトケドジョウ類を守るために何ができるか?」

宮崎 淳一 山梨大学 教育人間科学部 准教授

※ご来場には公共交通機関をご利用下さい。

自然環境診断マイスター養成

平成21年4月に春夏コース(第4コース)を募集予定です。詳細は、下記お問い合わせ下さい。

主催／信州大学 理学部 自然環境診断マイスター養成 審査委員会
お問い合わせ／信州大学 理学部 学生支援グループ マイスター事務局 TEL. (0263) 37-2440
ホームページ／<http://science.shinshu-u.ac.jp/~meister/>

平成19年度採択 文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」 「自然環境診断マイスター養成」について

理学部では、自然環境の「判別・生物多様性・保全策・防災対策」の能力を養い、自然環境教育・行政・事業に対し具体的な提言のできる「自然環境診断マイスター」を育成するためのプログラムを創設しました。

対象は、環境教育・行政・事業に係る現役教職員、大学又は専門学校を卒業した社会人、大学院生、再チャレンジャー等です。

講義方法は、土・日に集中講義を開講し、基幹実習（地質、植物、動物、大気、湖沼、遺跡調査法を1泊2日のフィールドワークで

実施）、特別演習（グループ学習、講師招聘）、特別講演（一般公開を実施）を行い、各教科で6割以上の評価を得てマイスター養成審査委員会で認定された受講者には、信州大学長名で「自然環境診断マイスター」の資格が授与されます。

開講回数は4回用意され、平成19年度には秋冬コース（第1コース、終了）、平成20年度には春夏コース（第2コース、終了）、秋冬コース（第3コース、実施中）、平成21年度には春夏コース（第4コース、平成21年4月募集予定）が開設されます。

講演内容

2008.11月 1日(土)

「環境問題と地方自治体」

藤本 敏 松本市役所 環境保全課 ISO 推進・地域温暖化防止担当 課長補佐

松本市の環境問題の現状をお伝えするとともに、環境問題と市民活動のあり方、地球環境問題をはじめとする今後の課題についても考えてみたいと思います。

「生物多様性の保全：グローバルな枠組みとローカルな視点をどうつなぐか」

須賀 丈 長野県 環境保全研究所 自然環境部 研究員

まず生物多様性とその保全や持続可能な利用をめぐる科学的・政治的・文化的な論点を概説し、この課題をめぐる国際的な枠組みである生物多様性条約にこれらの論点がどのように反映しているかをみます。

次に、この条約を受けて制定された日本の生物多様性国家戦略や生物多様性基本法が、どのような取り組みを定めているかを概観します。

また近年改正や制定のなされた自然公園法・種の保存法・外来生物法などの骨子を紹介します。

さらに、長野県環境白書などにみる県の自然保護・自然環境保全の施策を概観し、長野県希少野生動植物保護条例・長野県版レッドデータブックなどの現状を紹介します。これらの制度的な取り組みをふまえて、自然保護地域での施策と里地里山の取り組みのちがいが共通点などを実例にもとづいて検討し、地域の実情に即して生物多様性の保全と持続可能な利用に取り組む上での今後の課題を考えます。

2008.
11月22日(土)

「湿地の保全と自然再生」

西廣 淳 東京大学 大学院 農学生命科学研究科 生態システム学専攻 助教

次の内容を含む解説をした上で、質疑応答・議論を重視した演習を行う予定です。

- ・自然再生事業の進め方
- ・湿地と人とのかかわり
- ・世界と日本における湿地の現状
- ・湿地の絶滅危惧種の保全
- ・湿地の再生と管理

「希少生物の保護と環境保全 -絶滅が惧られるホトケドジョウ類を守るために何ができるか？」

宮崎 淳一 山梨大学 教育人間科学部 准教授

希少生物の保護と生物多様性の維持・回復、自然環境の保全が今なぜ注目されているのか、その意味を解説し、今何ができるか、絶滅危惧種であるホトケドジョウを具体的な例として紹介します。

信州大学への交通

JR松本駅「お城口（東口）」を出て、右前方「エスパ」地下1階、松本バスターミナル乗場①「信大横田循環線」又は乗場③「浅間線」に乗車し、「信州大学前」下車徒歩2分。